# 熊本県立熊本工業高等学校　材料技術科　Oさん
# 電子顕微鏡　贈呈の御礼状

経済同友会会員
アライアンスパートナーズ株式会社
代表取締役社長　島田　雅夫　様

拝啓

寒風の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度の熊本地震に際しましては、格別な御厚意により電子顕微鏡を贈呈していただき大変ありがとうございました。

四月十六日の本震では、実習棟に亀裂が入り、機械類も倒れて破損してしまいました。電子顕微鏡も同じで、修理も困難な状況でした。

それまで、電子顕微鏡は私たち材料技術科の生徒にとって自慢の機器でした。装置自体は古いものでしたが、最も材料技術科の学習内容に合致した機器で、県内の他の学校にはありません。組織のミクロ観察ができ、材料の破壊についても非常にわかりやすく観察することができました。

地震後は、光学系顕微鏡を利用していましたが倍率が限られるため、観察に限界があります。これまで、当たり前のように使っていた機械・機器類をとてもありがたく感じ、なんとか使える機械や装置を活用しながら実験・観察を行ってきました。しかし、ミクロ観察ができず材料の性質を調べることができないため、より専門的な実験・観察は諦めていました。

そのような中、御社が経済同友会 1PPO 1PPO 1PPO プロジェクト熊本支援第1期活動として、電子顕微鏡が贈呈されるという話をお聞きしました。しかも、こんなに早く実現し、再び電子顕微鏡による実験・観察ができるとは想像もできませんでした。

贈呈していただいた最新の電子顕微鏡は、本科で研究している人工ルビーの合成した結晶をミクロ観察できるとともに、材料内の微細生成物を元素分析することにより、どのように物質が生成しているのかも知ることができる素晴らしい機能を備えています。そのため、合成した物質が期待するものであるかどうかを判定したり、破壊した材料の破断面に異物があれば、これを元素分析して、破壊原因を解明したりすることもできるようになりました。

皆様方の御厚意に対し、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。これから皆様方の御期待に沿えるよう勉学に励み、ふるさと熊本や日本の産業を支える一員として更に精進して参りたいと思っております。

皆様方のますますの御発展をお祈りし、お礼の言葉といたします。本当にありがとうございました。

敬具

熊本県立熊本工業高等学校　材料技術科